

平成22年産米の相対取引価格(出荷業者)(速報)
(平成23年1月)

(単位:円/玄米60kg)

産地	品種銘柄	地域区分	23年1月 ①	参考			
				22年12月 ②	対前月比 ①/②	22年1月 ③	対前年比 ①/③
北海道	きらら397		11,365	10,989	103%	13,906	82%
北海道	ななつぼし		11,449	11,298	101%	14,065	81%
青森	つがるロマン		11,230	11,462	98%	13,474	83%
青森	まっしぐら		10,613	11,226	95%	13,339	80%
岩手	ひとめぼれ		12,006	12,045	100%	14,547	83%
岩手	あきたこまち		11,978	12,185	98%	14,382	83%
宮城	ひとめぼれ		12,096	11,947	101%	14,758	82%
宮城	ササニシキ		12,313	11,875	104%	-	-
秋田	あきたこまち		12,382	12,560	99%	14,540	85%
山形	はえぬき		11,836	11,816	100%	14,208	83%
福島	コシヒカリ	中通り	12,672	12,723	100%	14,066	90%
福島	コシヒカリ	会津	13,597	13,757	99%	-	-
福島	コシヒカリ	浜通り	12,744	12,968	98%	-	-
福島	ひとめぼれ		11,489	11,671	98%	14,054	82%
茨城	コシヒカリ		13,096	12,948	101%	14,389	91%
栃木	コシヒカリ		12,730	12,834	99%	14,424	88%
埼玉	彩のかがやき		11,934	-	-	-	-
千葉	コシヒカリ		12,909	12,709	102%	14,642	88%
長野	コシヒカリ		13,574	13,606	100%	15,754	86%
長野	あきたこまち		12,359	-	-	-	-
新潟	コシヒカリ	一般	15,587	15,442	101%	16,582	94%
新潟	コシヒカリ	魚沼	21,769	21,796	100%	-	-
新潟	コシヒカリ	岩船	15,987	15,757	101%	-	-

産地	品種銘柄	地域区分	23年1月 ①	参考			
				22年12月 ②	対前月比 ①/②	22年1月 ③	対前年比 ①/③
新潟	コシヒカリ	佐渡	16,174	15,752	103%	-	-
富山	コシヒカリ		13,788	13,864	99%	15,506	89%
石川	コシヒカリ		13,334	13,284	100%	15,026	89%
福井	コシヒカリ		13,089	13,091	100%	14,926	88%
福井	ハナエチゼン		12,036	12,061	100%	13,838	87%
岐阜	コシヒカリ		13,661	13,716	100%	-	-
三重	コシヒカリ	一般	13,075	12,902	101%	-	-
三重	コシヒカリ	伊賀	13,503	-	-	-	-
滋賀	コシヒカリ		13,215	13,272	100%	14,841	89%
滋賀	キヌヒカリ		11,844	11,826	100%	-	-
京都	コシヒカリ		13,124	-	-	-	-
兵庫	コシヒカリ		13,756	13,536	102%	-	-
鳥取	コシヒカリ		12,959	-	-	-	-
鳥取	ひとめぼれ		11,659	-	-	-	-
島根	コシヒカリ		13,366	13,248	101%	-	-
山口	コシヒカリ		12,824	-	-	-	-
徳島	コシヒカリ		12,728	-	-	-	-
香川	ヒノヒカリ		11,453	-	-	-	-
愛媛	コシヒカリ		13,086	13,036	100%	-	-
福岡	ヒノヒカリ		12,177	12,418	98%	14,311	85%
大分	ヒノヒカリ		12,175	11,826	103%	-	-
全銘柄平均価格(平成23年1月分)			12,710	12,711	100%	14,684	87%
(参考)全銘柄平均価格(1月までの平均)			12,723				

資料:農林水産省「米穀の取引に関する報告」

注:1)相対取引価格は、ア 全国出荷団体、イ 年間の玄米仕入数量が5,000トン以上の道県出荷団体等、ウ 年間の直接販売数量が5,000トン以上の出荷業者と卸売業者等の主食用の相対取引契約(数量と価格が決定した時点を基準としている。)の価格(運賃、包装代、消費税相当額を含む1等米の価格。)であり、その契約数量を用いて加重平均した価格である。

その際、新潟、長野、静岡以東(東日本)の産地品種銘柄については受渡地を東日本としているものを、富山、岐阜、愛知以西(西日本)の産地品種銘柄については受渡地を西日本としているものを加重平均している。

2)また、相対取引価格は、個々の契約数量に応じて設定される大口割引等の割引などが適用された価格であり、実際の引取状況に応じて等級及び付加価値等(栽培方法等)の価格調整が行われることがある。

3)産地品種銘柄は、21年産の公表対象産地品種銘柄または公表対象となっていなかった府県の21年産検査数量上位の1品種銘柄で、かつ、月1,000トン以上の取引があったものである。

4)全銘柄平均価格は、報告対象産地品種銘柄ごとの前年産検査数量ウェイトで加重平均した価格である。

5)22年1月は21年産の価格である。